

【R4】外部人材をハブとした除却・利活用の情報収集発信の基盤の構築（三条市）

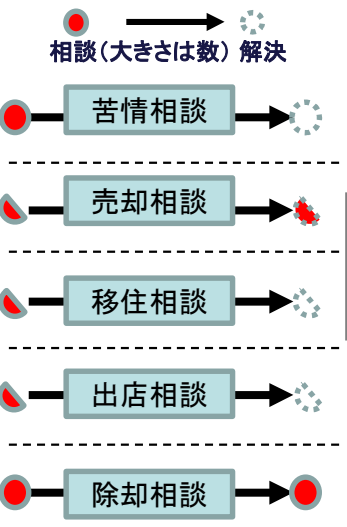
新潟県三条市を事業地域とし、空き家の情報収集・啓発・流通促進を目的として、空き家所有者、利活用希望者等を対象に、情報収集及び発信基盤の構築を行った。成果として、空き家相談件数昨年度比約400%、空き家バンク登録数については、昨年度比約300%を超える達成となった。

■ 事業概要

事業部門	部門3 ポストコロナ時代を見据えて顕在化した新たなニーズに対応総合的・特徴取組行う事業
事業地域	新潟県三条市
背景・課題	ポストコロナ時代を見据え、複雑化する空き家問題を解決するためには、広く多様な主体への情報発信の強化と、事業横断的な連携により多様な解決方法に導くための基盤づくりが課題であった。
目的	外部人材及び空き家バンクをハブとして情報発信の強化及び組織横断的な情報収集並びに啓発を行い、空き家の顕在化及び利活用機会の創出を総合的に促進し、もって空き家の増加を抑制することを目指す。
連携する団体・役割	空き家対策の推進に関する連携協定団体(情報提供、専門家相談)、株式会社ジェクトワン(民間技術の指導)、株式会社MGNET(デザイン、啓発イベント)、三条市(苦情空き家、出店、移住等情報交換と横断的啓発事業)

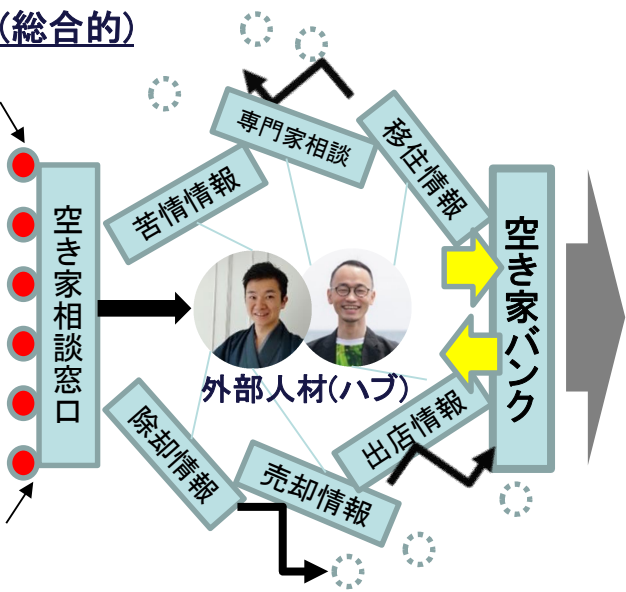
■ 取組内容と成果

取組前(対症療法的)



取組内容(総合的)

- ①不動産会社の持つ空き家情報の提供支援
- ②空き家相談ボックス及び啓発物の作成
- ③空き家セミナー・相談会の実施
- ④空き家情報の掲載方法のリニューアル
- ⑤空き家見学会・啓発イベントの実施
- ⑥空き家対策非営利団体の検討



成果

相談件数
134件
 R3年度30件

**空き家バンク
 新規登録件数**
48件
 R3年度16件

(R5. 2月現在の実績)